

外来種マングースの根絶が宣言された奄美大島で、捕獲用の筒わなの撤去が7日、完了した。ピーク時には約3万5千個が設置され、2019年から回収し

マングースの わな撤去完了

根絶宣言の奄美大島

最多時3.5万個 19年から回収

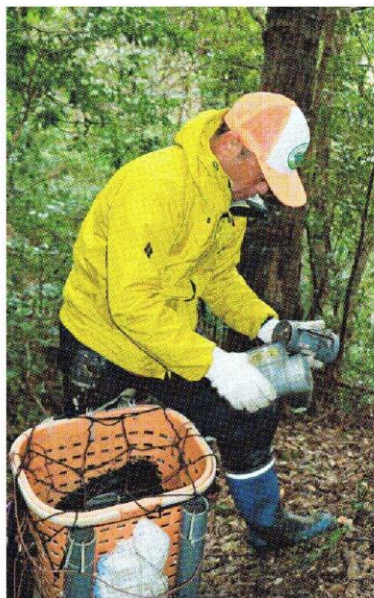
ていた。最後の撤去作業が行われたのは、ハブ対策として1979年にマングースが放された奄美市の赤崎地区の山中で、捕獲専門集団「マングースバスターズ」の7人が約50戸おきに設置されたわなを集めた。

08年にバスターズに加わった園山大助さん(57)は「赤崎がマングースの始まりの地であり、ここを最後に終わらせたいという思いがバスターズにはあった。役目を終えて寂しい気もする」と話した。

9月に根絶を宣言。93年以降、捕獲されたのは約3万2千匹、環境省が捕獲に乗り出した00年以降の事業費は約36億円に上った。回収したわなのうち約5千個は今年、マングース駆除が続く沖縄本島に送られた。奄美大島では再侵入に備え300個を保管。山中に約360台あるセンサーカメラは稼働を続け、探索犬も警戒に当たっている。

マングース対策に携わってきた環境省奄美群島国立公園管理事務所の阿部慎太郎さん(60)は「24歳で奄美に来て、マングースを何とかしたいという思いで36年間やってきた。達成できてよかった」と語った。

捕獲用のわなを撤去する「マングースバスターズ」のメンバー
11月7日、奄美市



【問1】 外来種マングースの根絶が宣言されたのは、どこでしょう。

奄美大島

【問2】 2月7日に何の撤去が完了したのでしょうか。

マングース捕獲用の筒わな

【問3】 問2の物は、多いとき(ピーク時)に約何個設置されていたのでしょうか。

約3万5千個

【問4】 環境省が捕獲に乗り出した 2000 年以降の事業費はどれくらいだったのでしょうか。

約 36 億円

【考えてみよう】 身近な地域に生きる外来生物について、調べよう。

むずかしい漢字とことば

宣言(せんげん) 奄美(あまみ) 捕獲(ほかく) 筒(つつ)

撤去(てつきょ) 完了(かんりょう) 回収(かいしゅう) 対策(たいさく) 専門(せんもん)

寂(さび)しい 全域(ぜんいき) = すべてのエリア。 環境省(かんきょうしょう)

以降(いこう) = その時をふくんで、それからずっと。 匹(ひき、びき) 駆除(くじょ)

侵入(しんにゅう) 稼働(かどう) = 機械が動いて仕事をする。 探索(たんさく)

警戒(けいかい) 携(たずさ)わって 歳(さい)

